

お申し込み・お支払い方法

下記フォームからお申し込みください。

こどもフォーラム参加のお申し込み

締め切り / 12月3日(日)

申込フォーム(右記QR)からお申し込みください。
フォームからの申込が難しい方はお問い合わせください。
申込受付後、ご案内するSTORE'Sのショップページより、お支払いをお願いいたします。



◎お支払いにはクレジットカード・コンビニ決済・あと払い(ペイディ)・PayPal・PayPay残高をご利用いただけます。

<注意事項>

- 電子チケット発券手数料2%がかかります。
- キャンセル料の扱いについて / 開催日の3日前[12月7日(木)]よりキャンセル手数料100%をいただきます。

託児のお申し込み

締め切り / 11月26日(日)

開催当日、無料で託児を行います。託児が必要な方はこどもフォーラムの参加お申し込みフォーム(上記QR)に必要事項(お子さまの名前・年齢)をご入力ください。

対象 / 6か月~小学生
先着順 / 定員10名に届き次第、締め切らせていただきます。

ブース展示のお申し込み

締め切り / 11月26日(日)

団体の活動紹介パネルや広報物の展示をご希望の方のために、無料ブースをご用意いたします。
こどもフォーラムの参加お申し込みフォーム(上記QR)の展示ご希望欄にチェックをお入れください。
※展示物の設置および撤去は、当日、貴団体にお願いいたします。

お問い合わせ先 ※3営業日以内に受付完了メールが届かない場合は下記へご連絡ください。

[E-mail] info@npoccf.jp **[TEL] 050-1743-5971**

「子どもにやさしいまち」とは

子どもの権利条約の内容を具現化するまち(市町村などの自治体)をいいます。
「子どもにやさしいまちづくり」はユニセフが提唱し、世界に展開している運動で、現在、約70の国で進められています。

会場のご案内

福岡大学 A 棟
福岡市城南区七隈 8 丁目 19-1

アクセス

●福岡市営地下鉄七隈線「福岡前」駅下車 徒歩約5分

●西鉄バス

「福大正門前」バス停下車
徒歩約5分

「福大前」バス停下車
徒歩約3分



A棟外観



当日は、公共交通機関にてお越しください。大学の駐車場はご利用いただけません。

特定非営利活動法人 NPO Center for children Fukuoka
子どもNPOセンター福岡

〒810-0005 福岡県福岡市中央区清川1丁目11-9ステイツ天神南202号室
【TEL】050-1743-5971 【FAX】050-3512-4545
【MAIL】info@npoccf.jp * 対応時間:月曜~金曜 / 9:30 ~ 17:00



子どもにやさしいまちづくり 第22回 市民フォーラム

こどもフォーラム福岡 2023

こどもの声は
この街の
たいせつな声だから。

2023年 _____
12月10日(日) 10:00 ~ 17:00

会場 _____

福岡大学 A 棟 2階 A 201 教室
7階 A 701~703/715~717 教室

参加費 _____

一般参加 / 1,500円
18歳未満・学生 / 無料

主催/特定非営利活動法人子どもNPOセンター福岡

協力/ファミリーシップふくおか、福岡市里親会、福岡市医師会・福岡県弁護士会パートナーシップ協議会、福岡市児童福祉施設協議会 後援/福岡県、福岡市、福岡県教育委員会



10:00~10:20

福岡市「さまざまな環境で育つ子どもの健やかな成長」に向けた取り組みについて
(福岡市子ども未来局子ども健やか部子ども家庭課 福井充さん)

10:20~11:50

特別講演 子ども期の逆境体験 (ACE) に 立ち向かう社会へ ~今、大人ができることは?~

ACEとは、逆境や親との離別、家族に依存症や精神疾患の問題があるといった子ども期の逆境体験をいいます。ACEは生涯にわたってさまざまな問題につながる事が分かっています。ACEによるリスクを軽減する、子ども期の良好な人間関係 (PCE) に関する研究治験や取り組みを紹介し、地域・学校/行政に何が出来るかを考えていきます。

龍谷大学 社会学部 准教授
三谷 はるよさん



大阪大学大学院人間科学研究科博士後期課程修了。人間科学博士。第3回福祉社会学奨励賞、第15回日本NPO学会 林雄二郎賞を受賞。専門は福祉社会学。主著に『ACE サバイバー~子ども期の逆境に苦しむ人々~』。



13:30~14:50

子ども基本法でどう変わる? わたしたちの生活

子ども記者さんの日常からうまれる疑問をヒントに「子どもまんなか社会」を考える企画です。「子ども基本法って、誰に関係があるの?」「こんなことで困ったら、誰に相談したらいい?」「“けんり”の主体ってどういうこと?」。質問に答えるのは、子どもの権利に詳しい専門家のお二人です。

ジャーナリスト 西日本新聞 子ども記者の皆さん



子ども記者って?
西日本新聞の『親子で読む子どもタイムズ面』にて取材・執筆をしている小学校4年生~中学校3年生の記者。任期は1年で、現在14期が活動しています。



子どもの権利に詳しい専門家



子どもの権利条約総合研究所 運営委員
平野 裕二さん



子どもアドボカシーセンター福岡 理事長
安孫子 健輔さん

司会者



子どもNPOセンター福岡 代表理事
重永 侑紀さん



ゲームで知る! 子どもの「けんり」

すごろく、かるたを使って遊びながら、楽しみながら、子どものけんりを知ることができます。けんりを知るとモヤモヤしていた気持ちがすっきりするかも。



ルームリーダー
武本 久美子さん
(福岡子どもにやさしいまち・子どもの権利研究会)



思春期の子どもに悩む おとなたちへ

思春期プログラム体験
+ 子どもたちのこえ

知っているようで知らない、思春期のこと。子ども自身は、イライラを生み出す思春期の影響を知らないためにいつもモヤモヤ。一方のおとなは不機嫌の発生源が分からず「何がイヤなの?」「反抗期?」とムツとして、いっそう衝突してしまいやすくなります。



ワークショップがかり
にじいるCAP
スペシャリスト(3名)
(NPO法人にじいるCAP)

毎年約30校の中学・高校生たちに向けて行っているワークショップを、今回特別に、おとなに向けて行います。



分科会・交流会

受験って必要? みんな仲良くって必要? 夢って必要?

学校・教育について語り合いませんか

教育改革、魅力ある学校づくり、教育の多様性、一人ひとりに合わせた教育——ここ数年、こうした言葉を耳にする機会が増えました。ゆっくりですが、少しずつ変化は起きています!



おはなし室長
上村 一隆さん
(認定NPO法人 箱崎自由学舎 ESPERANZA)

ただ不満を口にするだけでなく「こうなるといいなあ」「こうしたいよね」を語りあい、小さな流れを生み出していく。そんな時間を、ともに過ごしましょう。



みんなで楽しもう! 「新聞ばっぐ」づくり

折り紙のようにカンタンにできる「新聞ばっぐ」の作り方をインストラクターが教えます。古紙を再利用してバッグができあがるとして海外でも人気の新聞ばっぐ作り。ぜひ親子でご参加ください。



環境にも
やさしいね



活動紹介ブース

子ども・子育て支援活動に取り組むNPOや市民団体のパンフレット、紹介パネルなどを置いています。情報収集にお役立てください。



託児ルーム

小さなお子さまと一緒に過ごしたい方は無料託児ルームをご利用ください。
※対象/6か月~小学生(定員10名)
※要事前予約(詳細は裏面をご覧ください)



子どもフォーラム福岡の
詳細情報や最新ニュースは
Instagramでチェック!



子どもフォーラム福岡は
公益財団法人つなぐいのち基金と
公益財団法人日本財団の
助成を受けて実施されます。



Supported by
日本財団
THE NIPPON
FOUNDATION